

交換留学帰国報告書

記入 | 2025 年 5 月
所属 & 学年 | 工学部環境土木・建築学科 3 年
卒業予定 | 2027 年 3 月

留学先大学	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校
留学先国	アメリカ
留学期間	約 9 ヶ月 (2~3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2024 年 8 月 18 日 - 2025 年 5 月 15 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

人種のるつぼとも呼ばれ多様な経験のできるアメリカのなかで、自分の専攻である土木工学に国内でも屈指の強みをもっていたため、UIUC に決めました。

- ② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

将来的に発展途上国のインフラ整備に携わりたいという思いを持っており、そのために必要な幅広い視点を獲得できるのではないかと考え、高校生の頃に留学を目指し始めました。

- ③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など

- ④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

応募締め切りの約 5 か月前である一年生の 4 月末に、初めて留学相談に伺いました。そこではまず留学のためにしなければいけないことや、二年生で交換留学に行く注意点などを大まかに教えていただきました。

- ⑤ 海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

大学ごとの強い分野やレベル差といった、出願大学を決定する際の選択材料を多く提供していただきました。また、同校に過去に留学に行かれた先輩を紹介してくださり、とても心強かったです。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

- ① 留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

IELTS を一回受けました。IELTS の対策は、必要な最低限の点数を取るだけであれば留学を目指す名大生にとっては簡単だと思いますが、今振り返るとその最低点数は現地の大学で授業を受けることを考えると全く足りないものだと感じました。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

渡航前は単位互換を行うつもりはなかったのですが、留学中に帰国後の事を考えると単位互換を行うべきだなと思い学科の先生方に連絡しました。とても丁寧に対応してくださったので、履修に関して困ったことがあればまずは自分の専攻の先生方に相談してみるのがいいかなと思います。アメリカの大学の授業サイトによっては、TACT と違って過去の授業にアクセスできなくなるのでシラバスは自分のパソコンにしっかりと保存しておくのがいいと思います。私は秋学期のシラバスを保存していなかったため、わざわざ教授にメールを送らなければいけなくなりました。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

・秋学期

ENG398 Design Your Exc 1 単位

工学部への交換留学生が必須で受ける米国文化理解のための授業で、色々なアクティビティを通して様々な国から来た留学生と交流することができます

ENG110 Communicating and Presenting in Engineering 2 単位

工学分野における優れたプレゼンの仕方についての授業で、個人プレゼンを一回、ペアでのプレゼンを二回行いました。アメリカの学生が如何にプレゼンに慣れているかが分かるような授業でした。

UP185 Cities in a Global Perspective 3 単位

世界中の様々な都市がどのようにして発展してきたかを学びました。都市計画の知識以外にも、アメリカ文化、特に差別に関する歴史への理解も深まりました。

CEE190 Project-Based Introduction to CEE 4 単位

土木工学の基礎を学びながらキャンパス内の課題解決の提案を四人のグループで行いました。プレゼン発表に向けたデータの収集や資料の作成と並行して個人での課題も多く出されたので、この授業が留学生活の中で一番大変だったなと感じています。同時に一番自分の力を伸ばせた授業でもありました。

CS101 Intro Computing: Engrg & Sci 3 単位

Python の基礎を講義で学び、ラボに活かすという形式でした。私は名大では違うプログラミング言語を使っており、ほぼ初めて Python に触れるという状態でしたが、しっかりと理解しながらついていくことができました。

・春学期

STAT107 Data Science Discovery 4 単位

データサイエンスの入門を学ぶ授業でラボもあり、CS101 の延長に近いような形態の授業でした。秋学期で受けた CS101 の授業が楽しく、もう少し Python を勉強したいと思って受講したのですが、より実践的でとても充実していました。

CEE310 Transportation Engineering 3 単位

交通工学についての授業です。アメリカの交通工学ならではの、重量や距離の単位が日本と違ったのが少し苦労しました。この授業は他の授業に比べて比較的テスト重視のもので、日本の大学の授業の進め方に近かったです。

UP230 Transportation Planning: Fundamentals and Innovations 3 単位

社会科学の視点から都市交通計画を学ぶ授業でした。現在のアメリカが超車社会になった過程やそれによる問題点及び解決方法を主に学びましたが、日本にも当てはまるようなことがいくつかあり、楽しかったです。グループプロジェクトもあり、そのためにものすごい量の英文を読まなければいけませんでした。メンバーと協力しながら行えば乗り越えられると思います。

STAT100 Statistics 3 単位

統計学の基礎を学ぶ授業です。高校の数学 1 の延長から大学での統計学の基礎までを学びました。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

グループプロジェクトが多かったので、現地の学生との専門的なディスカッションについていくのは大変ではありましたが、意見を出すべきところではきちんと出してメンバー全員でプロジェクトを完成させていく意識をもつようにしていました。

質問は基本的に歓迎され、講義中に積極的に質問をする学生の名前を覚えようとしてくれる教授も多かった。授業中は質問点を考えながら聞くように心がけていました。

テスト前には Practice Exam の公開がある授業も多かった。練習の数をこなすようにしてテスト勉強をしていました。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

アメリカではオフィスアワーに質問をしに行くことが非常に一般的だったので、その時間をうまく活用してわからないところは TA の方に聞きに行きました。顔と名前を覚えてくれる人もいます。

授業によっては課題の一部として予習のリーディングがとて多かったです。あまりにも多くて普通にやると間に合わないことも少なくなかったため、ChatGPT で要約してから自分で読むなど、許可されている授業においては適度に AI の活用もしていました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

キャンパスが本当に広くて、9か月いても全部周りきることはできませんでした。春になるとクワッドに多くの学生が集まりとても良い雰囲気でした。平日は遅くまで課題や勉強をする代わりに、休日は思い切り遊んだり趣味を楽しんだりという学生が多くオンオフがしっかりしているなという印象でした。アメリカの大学のなかでも有名なパティースクールらしいです。

大学はアーバナとシャンペーンという二つの街に跨って立地していますが、どちらの街も大学以外特になにもないような場所なこともあってか、現地の方々は大学生に優しくったり大学スポーツを熱心に応援したりしているような人が多かった。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

冬は寒さが非常に厳しく太陽の出る時間も極端に短いため、気持ちが暗くなりがちになってしまいました。シカゴまで公共交通機関で行く場合は個人的には電車よりバスをお勧めしますが、あまり信用せず車で行くのがいいかと思います。ネット環境についてはキャンパス内では UIUC 生であればどこでも Wi-Fi が繋がるのでハードどころか名大より便利だなと感じました。都市部ではないですがそれでも物価は高く、たびたび停電も起きたりしていました。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

授業でも話せる友達はできましたが、一緒に旅行に行くような友達とは学期初めのオリエンテーションで出会いました。最初は特に積極的にいろんなところに顔を出してみた方がいいと思います。学期中は、仲の良い友達何人かと週末の夜に寮のキッチンに集まって喋ることが多かったです。私は現地でも名大でもサークルや部活等に入っていませんが、現地のほうがそういう人でも大学内で友達をつくりやすいと思います。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

長期休暇は11月末に一週間、秋学期後にか月、3月中旬に一週間ありました。それぞれ西海岸周辺のロードトリップ、フロリダ滞在、東海岸旅行と存分にこの機会を活用し、有名どころほぼ全部を周ることができました。私含め20歳になる年に留学に来ている人たちの中で、成人式のために帰国する人はあまり多くはなかったです。授業後は友達とダイニングホールで夕飯を食べるのが日課でした。週末は③で書いた内容や、たまにバスケもしていました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

特にないですが秋に肺炎が流行っていました。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

結核のワクチンが足りていないとのメールが大学から届いたので、接種のために一回だけ大学の病院に行きました。一回のワクチンで\$45でした。

③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

☒ はい（種類：）

☐ いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人（シャワーとトイレは3人で共有）

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

野菜とフルーツは意識的に摂るようにしていました。人種に関する発言は当然気を付けていました。キャンパス付近の治安はアメリカ国内のなかでは非常に良い方だと思いますが、それでも夜間の外出は友達として一人にならないように気を付けていました。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

日本食や日本のお菓子はキャンパス付近のアジアンスーパーで買えるので要らないと思います。肌が弱く化粧水などは日本のものを使いたかったので、十分な量を持って行けてよかったです。衣服はそこまで多くの量をもっていかなくてもよかったなと思っていますが、靴に関しては大学が広く歩く距離が必然的に増えるので、日本にいるときよりも消耗が早かったです。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

<https://courses.illinois.edu/schedule/DEFAULT/DEFAULT>

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

現地で銀行口座を開く場合は学期の初めにバンクフェアのようなものがあったので、そこに行くといいと思います。

- ②奨学金は受給していましたか。

☒はい （奨学金名： JASSO 協定派遣奨学金 支給額： 月 8 万円 ）

☐いいえ

- ③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変わってください。

内容	金額	備考
渡航費	40 万円	往復分
保険代	20 万円	
予防接種・ビザ代	5 万円	
住居費	100 万円	学生寮(Sherman Hall)
食費	80 万円	週 10 食のミールプラン
教科書代	1 万円	

H. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☒進学

☐就職

☐その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学前は考えてもいませんでしたが、今では名古屋大学を卒業後再びアメリカの大学院で学びたいと強く思っています。キャリアプランとしてはもともと留学前から海外で働くことを目指していましたが、今回の留学でその気持ちがより強まりました。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報をお願いします。

私は就職活動を行いませんでしたが、他の日本人留学生の就活生の多くは 11 月のポストンキャリアフォーラムに参加し、4 月のロサンゼルスキャリアフォーラムに参加している人も少しだけいました。

I. 留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

楽しかったことや大変だったことすべて含めとても充実した留学生活だったなと感じています。日本では出会えなかった友達や見られなかった景色を経験できたことが印象に残っています。一方で、最後の 1,2 週間は留学中にもっとなにかできたことがあったのではないかという気持ちになることが多かったため、これから留学に行く方々には色々な機会を活用し、積極的にたくさんの経験ができるような場所に飛び込んで行ってほしいなと思います。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

多様な価値観に触れたことで自分の世界も広がったと思います。また、将来の選択肢に海外が加わるようになりました。今では世界中に友達がいるということがとてもうれしく、いつかまたみんなと会えるのがとても楽しみです。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

留学は確かに大変なことが多くありますが、目の前のことを一つずつクリアしていけば帰る頃には行く前思っていたよりずっとやっていけたなと成長を実感できると思います。日本にいてだけでは得られない種類の成長だと思うので、迷っている人がいればぜひ一歩踏み出してほしいです。留学室の先生方や先輩方も真摯に相談にのってくださいますし、連絡をくだされば私もできることはさせていただきます。

◆自由記述欄◆

渡航先の大学や留学の様子がわかる写真（メール添付でも可）を下記へ、ぜひ共有してください。報告書は Web サイトや印刷物として公開するため、被写体の人物へ使用についてあらかじめ承諾を得てください。添付された写真は、すべて被写体の人物から公開承諾を得たと判断し、海外留学室の Web サイトや印刷物へ使用します。

↓↓↓



以上